

自然の声を聞く（発見と希求）

上村松篁・淳之 花鳥画の世界



上村松篁「春静」昭和58年



上村淳之「釧路湿原の春」平成20年

2019年 3月23日(土)～6月23日(日)

開館時間 10:00～17:00(入館は16時まで)

◆ 館長上村淳之による 美術講演会(展示室にて開催)

5月18日(土)14時～15時

※ 聴講無料。美術館入館料は別途必要です。席に限りがございますので、混雑時はお立ち見になる可能性がございます。(着席数は約50席)

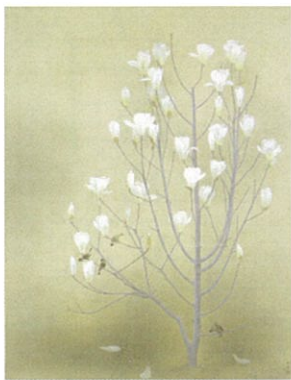
休館日 月曜日(但し4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館 5月7日(火)が休館)

入館料 大人(高校生・大学生含む):820円 小学生・中学生:410円

※ 20名以上の団体は1割引/※ 障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで2割引

主催 公益財団法人 松伯美術館

松伯美術館
SHOUHAKU ART MUSEUM



上村松篁「鳥影趁春風」 昭和6年



上村松篁「青柿」 昭和22年



上村松篁「花」 昭和53年



上村淳之「白鷹II」 平成17年



上村淳之「四季花鳥図」(春・秋) 平成10年



上村淳之「花の水辺I・II」 平成18年



上村松篁「狐」 昭和17年



上村松園「花見」 明治43年



上村松園「人形つかい」 明治43年



上村松園「鼓の音」 昭和15年

“鳥のことは鳥に問い、花のことは花に問う”自然に教え導かれて生まれる松篁・淳之の花鳥画には、自然の叡智に対する深い畏敬の念が込められています。同じ空間に座し、計り知れない時を共に過ごすことによって知り得る作家と自然との一体感は、何ものにも侵されない美しい世界を作家の胸中に育みます。自然から得られる新しい発見と感動は無限に続き、作家の心境や表現方法に影響を与えます。2人の花鳥画家が心に抱いた美しい世界はどのように展開していくのでしょうか。彼らが覗いた自然の深遠な世界を、発見と希求の跡が色濃く残る写生とともにご紹介します。

特別出品

- 上村松園「花見」(明治43年)・「人形つかい」(明治43年)・「鼓の音」(昭和15年)

松伯美術館
友の会

会員を募集しております。
皆様のご入会をお待ちしております。

松伯美術館

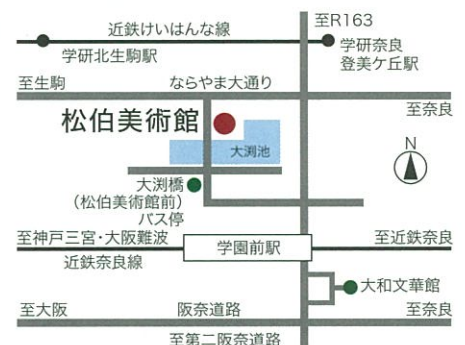
SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
TEL.(0742)41-6666/FAX.(0742)41-6886
<http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/shohaku>

交通のご案内

近鉄奈良線(学園前駅)北口
バスターミナル5・6番のりばより
バスで約5分
「大洲橋(松伯美術館前)」下車、
大洲橋を渡った右側。

※駐車台数に限りがあるため、
できるだけ電車・バス・タクシー
でお越しください。



割引入館券を近鉄主要駅にある
駅営業所にて発売中!

※学園前駅では販売しておりません。

- ◆販売期間:2019年3月18日(月)~6月23日(日)
- ◆割引入館料金:大人(高校生・大学生含む)650円/小学生・中学生320円

次回展覧会のお知らせ

下絵と素描から知る上村松園
~絵師としての気概~

2019年7月13日(土)~10月6日(日)